

私達は日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2018年03月02日 No.434
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

核兵器禁止条約に参加する政府を

ヒバクシャ国際署名の飛躍を確認—2018年3・1ピキニデー集会ひらく

アメリカによる太平洋マーシャル諸島・ピキニ環礁での水爆実験から64年。2018年3・1ピキニデー集会は3月27日の国際交流会議を皮切りに3月1日のピキニデー集会まで3日間にわたって静岡市、焼津市で開催されました。

27日の国際会議には米国、フィリピン、韓国、マーシャル諸島共和国の代表が出席。国内から130人の参加者が核兵器禁止条約を力に核兵器のない世界へ新たな運動を交流しました。

アメリカの代表はトランプ政権のNPR(核態勢見直し)への反対運動を表明、韓国の代表は、朝鮮半島の平和体制をいかに作り上げていくかそのために反核平和団体の運動の重要性を強調しました。

3月28日の午後からの「3・1ピキニデー日本原水協全国集会」には全国から850人が参加して開かれました。全労連小田川議長は「ヒバクシャ国際署名と安倍改憲阻止3000万署名を広げ、禁止条約に参加する政府を作ろう」と主催者あいさつ。基調報告で安井日本原水協事務局長は「国際政治に新しい変化を作り出した私たち被爆国の運動をさらに大きく広げよう」と訴えました。



被災64年の3・1ピキニデーは午前9時半より焼津市で久保山愛吉さんの墓参り平和行進から始まりました。台風並みの暴風の中での行進でしたが海外代表、被爆者を先頭に1500人が参加して行われました。午後1時より焼津市民文化センターで「被災64年2018年3・1ピキニデー集会」が開かれました。集会ではヒバクシャ、ピキニ事件被災者など全国からの参加者が核兵器禁止条約を力に核兵器廃絶の実現を目指す決意と取り組みを交流しました。第5福竜丸元乗組員の大石又七さんも車イスから安倍政権がアメリカ言いなりの「

戦争する国づくり」の危険な道を進んでいると厳しく批判しました。

(写真・上—原水協全国集会、3・1ピキニデー集会 左—墓参り平和行進)

岡山から11人参加

2018年3・1ピキニデー集会には岡山県から、林精研労組、岡山医療生協労組、岡山医療生協、新婦人県本部、岡山県労会議、県平和委員会の6団体と県事務局から合わせて11人が参加しました。夕食懇親会では「第5福竜丸以外の核実験被害のことを初めて知りました。しっかり学んで平和運動を頑張りたい」という発言もありました。(墓参り行進前に記念撮影、3月1日焼津駅前)

